

平成 26 年 3 月 24 日（日） 1 : 2 5 からの「ガイアの夜明け」という番組を見た。

シニア世代の医師が、無医村で地域医療に携わるドキュメンタリーで、主人公は笹井平（ささいひとし）医師です。

彼は、医学部を卒業後、外科医として勤務し、その後企業で研究を行い、48 歳で管理職になりました。同時に、自分の人生を振り返るようになり、学生時代には、生意気にも「将来、無医村で医療を行う！」と言っていた自分を思い出し、今の自分でいいのかを考えるようになりました。

自分の思いを奥さんに告げると、「死ぬとき後悔したくないよね。」とひと言。それが彼の背中を押しました。長年臨床から遠ざかっていたので、地域医療を支援する「公益社団法人地域医療振興協会」の研修プログラムを受け、54 歳になって夫婦で静岡県賀茂郡西伊豆町田子地区の田子診療所に赴任しました。かつては遠洋漁業で栄えた地区でしたが、長年医師がいない状態の現在 2000 人が住んでいる地区です。

話はそれますが、シニアで起業する方が多くなりましたが、起業する理由として、1 位…技術を生かしたい、2 位…人のために役立ちたい、・・・、5 位…収入高めたい、のようです。「収入アップ」より「役立ちたい」が高い順位なんだそうです。

笹井医師も同じで、「人の役に立ちたい」思いで、日夜がんばっています。

地区の方への医療範囲は広く、専門の外科からお年寄りの治療まで様々です。先生は、「自分がいないと困る人がいる」という思いから、時間を見つけては他の病院へ出向き、治療法の指導をしてもらうための研修を行っています。番組では、寝たきりのお年寄りの床ずれの治療やけがの処置を学んでいました。（診療所のホームページには、小児科での研修の写真も出ています。）

さて、笹井医師もすてきでしたが、奥様もすばらしい方でした。元々助産師でしたが、長年現場から遠のいていたようです。笹井医師がこの診療所へ赴任したのをきっかけに、となり町の病院で、助産師に復帰しました。「主人のおかげで、今の私があり、今の私が一番満足している。」と。すごいですね。

私も今年 50 歳になります。かつてからの夢があり、達成までの時間がそろそろタイムリミットが近づきつつあります。今回、笹井医師夫婦を見て元気が出てきた。私の夢の達成の確率は相当低いですが、残り 10 年間の楽しみが沸き上がってきました。

今回、見ようと思って見たのではなく、偶然見た番組でした。とてもいい番組で、すごくラッキーでした。私も「死ぬとき後悔したくないよね。」を目標にがんばっていこうと思う。